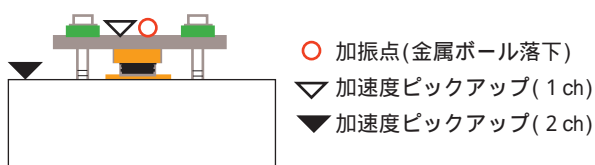


防振台

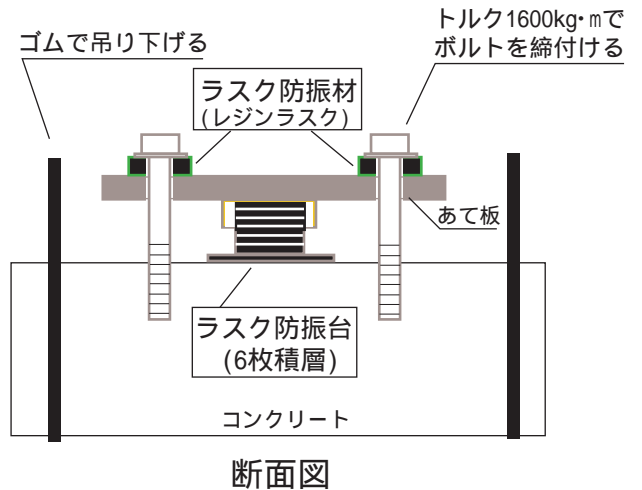
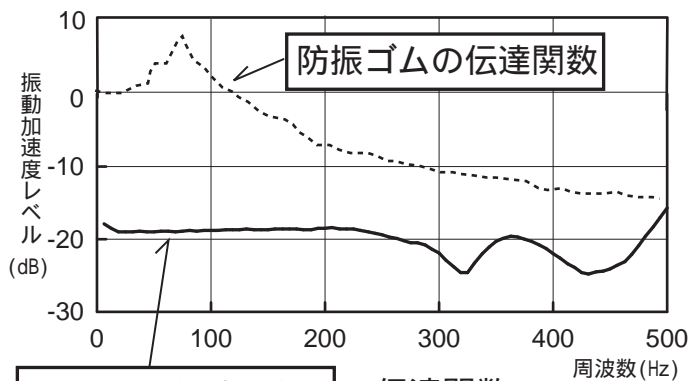
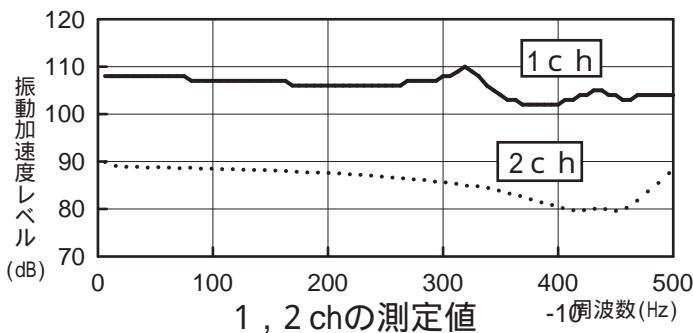
ラスク防振台に荷重を加えた状態における振動測定

コンクリート枕木の上にラスク防振台(型番：IS-100-6)をおいて線路の締結金具のボルトを使いトルク1600kg・mの力で図のように締め付けた。ラスク防振台上部のあて板に金属ボールを落下させ、防振台下のコンクリート枕木にどのような振動が伝わったのかをあらわしています。

ゴムなどの従来型の防振台では、このような荷重を加えた状態での測定はできません。そのため、ゴムの無荷重時における振動の伝達関数とラスクの伝達関数の波形を見比べてください。ゴムの場合どうしても共振点部分ができその部分は振動吸収ができません。ところが、ラスクの防振台では、振動吸収ができない共振点が見られません。このような特徴の違いがあります。



測定位置



ラスク防振台 IS-100-6